

食育体験プログラム実践マニュアル（Ⅲ—1）

プログラム名	離乳期食育教室「離乳食について」		所要時間	40分（打合せ等を除く）
目的	乳児期からの食生活の基本を保護者等へ理解促進			
対象	0歳児をもつ保護者及びその家族 その他の希望者		場所	地域の公民館等
参加人数	10名		教材等	母子健康手帳、資料「だしのとり方」 プリント「とりわけ離乳食のポイント」
事前準備	救急体制の確認・参加者確認			
時間配分 (時刻(参考))	実施内容	担当	指導上の留意点等	
打合せ等 15分 (9:30～9:45)	○打合せ ○参加者受付	食育担当者 食育担当者	・事前にアレルギー履歴についての聞き取り	
プログラム 5分 (10:00～10:05)	○開会のあいさつ 参加者・スタッフ自己紹介	食育担当者	・同伴の乳幼児については託児施設ではなく、親も子も安心して参加できるように同室に確保 ・「母子健康手帳」参照	
15分 (10:05～10:20)	○母乳・ミルクと離乳食 ・母乳栄養と人工栄養 ・離乳 ・離乳の完了ってどういうこと ・離乳食の進め方の目安	食育担当者		
10分 (10:20～10:30)	○離乳食へのアドバイス ・だしのとり方  ・とりわけ離乳食のポイント (おかゆ、みそ汁、魚・肉・卵料理) 	食育担当者	・資料「だしのとり方」参照 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"><p>＜野菜スープ＞ キャベツ、たまねぎ、にんじんなどを小さく切り、水を加え沸騰後10分くらい煮てこす。</p><p>＜昆布だし＞ 水の量の1%の昆布を30分水につけて、火にかけ沸騰直前に取り出す。</p><p>＜かつおだし＞ 水の量の1%の鰹節を、水が沸騰したら加え、再沸騰したら火を止め、2分くらいして鰹節が沈んだらこす。</p><p>＜いりこだし＞ 水の量の3%のいりこ(煮干し)を30分水につけ沸騰後3分したら火を止め取り出す。</p></div> ・プリント「とりわけ離乳食のポイント」参照	
10分 (10:30～10:40) (10:40)	○感想を発表 ○終了のあいさつ	食育担当者 食育担当者	・家庭でのだしのとり方及び活用方法など	

とっても簡単!! とりわけ離乳食のポイント



献立名	主に使う材料	初期（6～7か月）	中期（8～9か月）	後期（10～12か月）
おかゆ	米 水 	炊飯時に、湯飲みに米大さじ1・水150ccを入れ炊飯器へ入れ、スイッチを入れ、出来上がり後（10倍粥）、すり鉢でどろどろになるまでです。	炊飯時に湯飲みに米大さじ2・水150ccを入れ炊飯器へ入れ、スイッチを入れる。 （全粥）	米200g・水600cc 炊飯器で炊く。（軟飯）
味噌汁	大人用に出来上がった味噌汁 だし汁 	味噌汁より大さじ1杯程度の野菜を取り出し裏ごしし、汁を大さじ1杯のだし汁で倍に薄める。	野菜は刻み豆腐はスプーンでつぶす。汁は倍に薄める。 (量は個人対応)	野菜は粗刻みにし豆腐はそのまま、汁は倍に薄める。 (量は個人対応)
魚料理	水煮白身魚1切れ60g だし汁（昆布・かつお） 	皮をはずした魚を三等分し、すり鉢ですり、だし汁100ccを加え火にかけ水溶き片栗粉でとろみをつける。	魚は細かくほぐし、だし汁を少々加える。 (コンスターーチ大さじ1/2、水60cc)	魚は粗めにほぐし、だし汁を少々加える。
肉料理	ささ身2本 だし汁 味噌汁等の野菜 	凍らしたささ身一本をおろし野菜を裏ごしし、だし汁100ccを加え火にかけ、水溶き片栗粉でとろみをつける。	ささ身2分の1本を細かくたたき、茹で、刻んだ野菜とだし汁少々加える。 	ささ身2分の1本を粗刻みし、茹で、粗刻みにした野菜とだし汁を少々加える。
卵料理	卵 だし汁 味噌汁の豆腐 	固ゆで卵の卵黄のみ裏ごし	茶碗蒸し 溶き卵1個・だし汁150cc・薄口しょうゆ小さじ1をあわせ、器2個に入れる。薄いひし形の豆腐を2～3切れ加え、蒸し器ですが立たぬよう12～13分蒸す。 	卵とじ 溶き卵1個と粗刻みにした野菜で卵とじにする。